

教育研究業績書

2024年 5月 1日

氏名 吉田 潤

研究分野	研究内容のキーワード	
1. 版画	木版画	
2. 絵画	日本画、ミクストメディア	
教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1) ワークショップ、公開講座 (1) 連携プログラム 「うらわ美術館+埼玉県立近代美術館+東京藝術大学」	平成20年11月～12月	感光性樹脂版を使用し、小学生が描いた原画から版画作品と一緒に制作。印刷、製本後に鑑賞会を行う。実技指導講師として参加。版画、自作についてなど実作を用いて説明。 対象:小学生16名
(2) 木版画実技 (東京藝術大学 公開講座)	平成23年7月 平成25年7月 令和元年7月	伝統水性多色木版画作品の制作において、実技指導及び講評。 担当:三井田盛一郎氏、宮寺雷太氏と実施 対象:市民一般18名 期間:全8日間
(3) シルクスクリーン実技 (東京藝術大学 公開講座)	平成24年7月	シルクスクリーン作品の制作において、実技指導補助及び講評。 担当:阿部大介氏、宮寺雷太氏と実施 対象:市民一般18名 期間:全8日間
(4) 木版画-彫りについて- 教員研修	平成24年9月	専門的内容の実技指導(彫刻刀を使用した彫り方) 木版画の歴史についての解説。実技講師として参加。 対象:東京都台東区の小学校教員 25名
(5) 木版画-摺りについて- 教員研修	平成24年11月	専門的内容の実技指導(丸刷毛を使用した伝統的な「ぼかし」「ごま摺り」など摺りについて)、解説。実技講師として参加。 担当:宮寺雷太氏と実施 対象:東京都台東区の小学校教員 25名
(6) 和紙作り&木版画制作 (京都精華大学 公開講座)	平成26年11月	紙の原料や木版画の歴史について学び、A4サイズの和紙を制作。ドーローイングから下絵を制作し木版画単色一版の彫りと摺りを行う。(木版画担当) 担当:福岡舞子氏と実施 対象:市民一般15名 期間:全5日間
(7) 浮世絵ブックカバー (京都精華大学 公開講座)	平成27年6月 平成28年7月	浮世絵の伝統的なプロセスを学びながら、木版画制作を行う。北斎、写楽、国芳などの下絵を使用して、水性多色木版画を制作。最後に使える物として「ブックカバー」に仕立てる。 対象:市民一般15名 期間:全3日間
(8) 自作を語る 「現代における版表現の多様性と可能性」特別講義、ワークショップ	平成28年7月	印刷技術から発展した木版画。日本画出身の経験から、版画の複数性の捉え方や版画の間接性についての解釈から生まれる作品について解説。実作を用いながらPowerPointを使用して講義を行う。また、「箔」について扱い方と劣化のさせ方などワークショップも開催。 対象:大学院生、学部生、研究生 他

事 項	年月日	概 要
2) 高大連携模擬授業 (1) 豆本とフォトグラムを作ろう！ (京都精華大学)	平成26年5月	ブックアートや絵本の制作に必要な製本の基礎を学ぶ豆本制作と、光と影の関係をフォトグラム・ブループリントによる授業を楽しく体験する。 担当：池垣禎彦氏、北野裕之氏、岸雪絵氏と実施 対象：京都精華女子高等学校・2年生 約40名
(2) 紙漉き体験！ポストカードを作ろう！(京都精華大学)	平成26年5月	京都精華大学、紙漉き工房にて和紙とカラーパルプ・再生紙等を使ってオリジナルポストカード制作を行う。紙漉きの基本的なプロセスを楽しみながら体感する。 統括：池垣禎彦氏 対象：六甲アイランド高等学校・2年生 約30名
(3) 豆本と缶バッジを作ろう！ (京都精華大学)	平成26年6月	ブックアートや絵本制作に必要な製本の基礎を学ぶことができる、豆本制作と高校生が自分で描いたイメージをオリジナルの缶バッジに制作する。 池垣禎彦氏、北野裕之氏、岸雪絵氏と実施 対象：クラーク記念国際高校 高校1～3年生 約15名
(4) 紙漉き体験！ポストカードを作ろう！(京都精華大学)	平成27年6月	京都精華大学、紙漉き工房にて和紙とカラーパルプ・再生紙等を使ってオリジナルポストカード制作を行う。紙漉きの基本的なプロセスを楽しみながら体感する。 版画専攻内のツアー(工房紹介なども含める) 統括：池垣禎彦氏 対象：六甲アイランド高等学校・2年生 約30名
(5) 銅版画によるカンタン製本でノート作り(京都精華大学)	平成27年6月	小さな銅版に、ドライポイントを制作し、版画は簡易額装に、また版はピンをつけブローチにしてHANGAグッズにするというもの。 統括：池垣禎彦氏 対象：京都精華女子高等学校・2年生 約20名
(6) シルクスクリーンでキラキラノートとバッグ作り(京都精華大学)	平成28年3月	高校生が描いたイメージからシルクスクリーンを用いて、布バッグとノートに印刷。ノートはキラキラ箔シートを貼って完成。同イメージを布と紙の異なる素材に刷られた印象の違いを、楽しみながら体験してもらおう事を目的とする。 また乾燥時間などを使って缶バッジ制作も行う。 版画専攻におけるカリキュラムの幅広さを体感して貰う為にも2種類の項目を取り入れ、工房の紹介も行う。 統括：池垣禎彦氏 対象：明石高等学校・2年生
(7) 豆本&銅版画を作ろう！ (京都アートスクール)	平成27年6月	簡単な製本工程を学びながら豆本を作り、キーホルダーに仕上げる。もう一つは小さな銅版に、ドライポイントを制作し、版画は簡易額装に、また版はピンをつけブローチにしてHANGAグッズにするというもの。大学・専攻についてスライドにて紹介。 対象：高校1～3年生
(8) 紙漉き体験&消しゴムハンコ！ (京都精華大学)	平成28年5月	京都精華大学 紙漉き工房にて和紙とカラーパルプ・再生紙等を使ってオリジナルポストカード制作を行う。紙漉きの基本的なプロセスを楽しみながら体感する。また、生徒さんを半分にチームにわけ、消しゴムハンコでポストカードにスタンプをする。楽しみながら凸版も体感してもらおう。版画専攻内のツアー(工房紹介なども含める) 対象：六甲アイランド高等学校・2年生 約30名

事 項	年月日	概 要
(9)シルクスクリーンによる手ぬぐい、和紙を使ったカンタン製本でノート作り(京都精華大学)	平成28年7月	高校生が描いたイメージからシルクスクリーンを用い、手ぬぐいと阿波和紙にプリント。阿波和紙の方はプリントを表紙とした、簡単な糸綴じ製本でノートをつくり、そのあとキラキラ箔シートを貼付けて完成させる。同じイメージを布と紙の異なる素材に刷られた印象の違いを、楽しみながら体験してもらう事を目的とする。 総括：池垣禎彦氏 対象：京都精華学園高等学校・2年生
(10)デッサンコンクール(府立亀岡高等学校)	平成28年7月	府立亀岡高等学校にて数校の高校生が集まり、時間を決めてデッサンを行う。仕上がったデッサンについて、集まった数校の大学教員数名で審査を行い、賞を決定する。またクラスごとの講評会を実施。 対象：高校2年生 - 1, 2, 3年生 150名程度
(11)ART Kochi「HANGAノートと、銅版缶バッジを作ろう！」	平成28年8月	0.1mmの薄い銅版にボールペンでイメージを描き、凹みを作り、簡単なドライポイントにする。その後、それを表紙にした簡易的な糸綴じ製本でノートにする。また、こちらで用意したイメージを用いシルクスクリーンで布バックにプリントする。多様な版面を使えるHANGAグッズ制作を通して楽しみながら知ってもらう事を目的とする。 対象：高知県下の高等学校・数校。高校1～3年生
(12)雪花染ノートとシルクスクリーンでキラキラBAG & BOXを作ろう！(京都精華大学)	平成29年1月 平成30年1月	和紙を折り畳み、畳んだ箇所染料を染み込ませる事でキレイな花柄のような和紙を作ることができる<雪花染>を行い、それを表紙に既成のノートに貼り込む。また高校生が描いたイメージからシルクスクリーンを用いて、布バッグと黒紙に刷り、紙の方にはキラキラ箔シートを貼り、それを紙の貼箱のフタに貼り込み完成。同じイメージを布と紙の異なる素材に刷られた印象の違いを、楽しみながら体験してもらう事を目的とする。 版面専攻におけるカリキュラムの幅広さを体感して貰う為にも2種類の項目を取り入れた。 対象：京都芸術高等学校・高校2年生
(13)紙漉き体験！ポストカードを作ろう&消しゴムハンコでお出かけバッグにスタンプ！(京都精華大学)	平成29年5月	例年、連携校の希望で紙漉き授業を開講。簡易的な楮の流し漉きと、カラーパルプによる溜め漉きを体験して貰う。また凸版を知ってもらう為にも消しゴムを制作し布バッグにスタンプング。グッズとして制作することで楽しみながら版面の一端を知ってもらう事を目的とする。 対象：六甲アイランド高等学校・高校2年生
2 作成した教科書、教材		
3 教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務の経験を有する者についての特記事項		
5 その他		

職務上の実績に関する事項				
事項	年月日	概要		
1 資格, 免許	平成18年3月 平成24年11月 平成24年11月	学芸員資格証明書 No. 芸大美証第17-12号(東京藝術大学) 中学校教諭専修免許状 美術 平24中専修20号(東京藝術大学) 高等学校教諭専修免許状 美術 平24高専修24号(東京藝術大学)		
2 特許等				
3 実務の経験を有する者についての特記事項				
(1) 国絵図復元 (科学的調査・復元研究)	平成22年9月	内容: 木彫村形成印作成(東京藝術大学保存修復日本画研究室) 「地図資料科学の構築」の新展開 材料:山桜 国絵図復元の際に必要な村形印を作成依頼。		
(2) 「干支色紙」制作 (福島復興支援プロジェクト) 福島県須賀川郵便局	平成23年4月	内容: 東京藝術大学の教員、学生が主体となり福島県須賀川郵便局との東日本大震災の復興支援企画としてのプロジェクト。 「干支色紙」制作、販売。企画立案時から技術指導、制作補助。		
(3) 「干支色紙」制作 (福島復興支援プロジェクト) 福島県須賀川郵便局	平成24年4月	内容: 東京藝術大学の教員、学生が主体となり福島県須賀川郵便局との東日本大震災の復興支援企画としてのプロジェクト。 「干支色紙」制作、販売。企画立案時から技術指導、制作補助。		
(4) 「堀川common×SEIKA HANGA」 (ワークショップ、イベント)	平成27年10月	内容: 版画を身近に感じてもらうために、オリジナルのHANGAグッズが作れるワークショップを開催。会場には学生の版画作品を展示。イベント当日のアイデア、広報用フライヤーの制作補助、参加学生の指導、運営。 主催: 堀川商店協同組合 助成: 商店街アイディア表現プロジェクト事業		
(5) 「京まちなか市」"ハンガマルシェ"(イベント)京都マルイ(河原町)	平成28年1月	内容: シルクスクリーンや銅版画などで制作した、トートバック、缶バッジ、ZINE、HANGAノートなどを販売。イベント当日のアイデア、広報用フライヤーの制作補助、搬入出と販売のディレクション。 主催: 手作市場		
(6) 「伊藤若冲生誕300年記念ブックフェア」記念しおりデザイン(イベント)	平成28年11月	内容: 生誕300年を契機として京都府書店共同組合が中心となり京都府内の書店で「伊藤若冲生誕300年記念ブックフェア」を開催。企画の一環として京都精華大学版画コースの学生たちが若冲をイメージした「しおり」をデザイン。 報告会の実施企画、準備、当日進行役など。 主催: 京都市書店組合		
4 その他				
(1) 第11回 飛騨高山国際現代木版画 トリエンナーレ2020 小中学生部門審査員	令和2年11月	小中学生部門の審査員として参加。 287点の応募から、36点の入賞作品, 32点の入選作品を選出。 審査、作品講評を実施。		
研究業績等に関する事項				
著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) (1) 版画芸術No. 167	共著	平成27年3月	阿部出版株式会社 No. 167, P66-67	木版画家30人。 新時代を切り開く精鋭たち(作品画像、ステートメント掲載)
(2) 版画芸術No. 193	共著	令和3年9月	阿部出版株式会社 No. 193	木版画の新潮流。現代木版画家の作家として作品画像、取材文掲載。

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会誌・美術雑誌・新聞掲載) (1) 大学版画学会誌		平成23年4月	大学版画学会事務局 No. 40, P11	作品画像、ステートメント掲載。
(2) 月刊美術 No. 460		平成25年12月	株式会社サン・アート No. 460, P35	イチオシ作家2014 「Continuously multiplying」掲載
(3) 月刊アートコレクターズ No. 68		平成26年11月	株式会社 生活の友社 No. 68, P59	やっぱり「日本画」が好き 「三姉妹」作品画像掲載
(4) 月刊美術 No. 472		平成26年12月	株式会社サン・アート No. 472, P33	イチオシ作家 今年の100人 "Pictorial offering #5 作品掲載
(5) 月刊美術 No. 473		平成27年1月	株式会社サン・アート No. 473, P69	未来の版画がやって来た！ 「Silver lining」作品掲載
(6) 月刊美術 No. 475		平成27年3月	株式会社サン・アート No. 475, P25	春の展覧会×200plus 「Continuously multiplying」掲載
(7) 月刊アートコレクターズ No. 74		平成27年5月	株式会社 生活の友社 No. 74, P79	画廊の夜会 おすすめの展覧会 吉田潤新作展「神話myth, mythic」
(8) 月刊美術 No. 483		平成27年11月	株式会社サン・アート No. 483, P53	2015イチオシ作家 誌上販売27点 百虎「おひな様」作品掲載
(9) 月刊美術 No. 484		平成27年12月	株式会社サン・アート No. 484, P64	2016イチオシ作家 現代アートetc 作品掲載、ステートメント
(10) 月刊美術 No. 488		平成28年4月	株式会社サン・アート No. 488, P95	アートフェア東京2016 吉田潤個展「絵馬」掲載
(11) 月刊美術 No. 489		平成28年5月	株式会社サン・アート No. 489, P95	子供を描いた絵 「キスとハグを」作品掲載
(12) 美術の窓 No. 393		平成28年6月	株式会社 生活の友社 No. 393, P83	若手発掘の最前線14 新生絵画展2015優秀賞受賞作品掲載
(13) 月刊美術 No. 508		平成29年12月	株式会社サン・アート No. 508, P95	イチオシ作家2018 現代アート&現代工芸
(14) 月刊美術 No. 510		平成30年2月	株式会社サン・アート No. 510, P95	アートフェアは傑作を狙え！ 「幽けし銀灰」作品掲載
(15) 月刊美術 No. 512		平成30年4月	株式会社サン・アート No. 512, P52	心奪われる作家たち 推薦人/村岡貴美男(女子美教授)
(16) 月刊美術 No. 540		令和2年8月	株式会社サン・アート No. 540, P98-99	「HANGA NEXT GENERATION」 作品掲載、野口玲一氏による講評
(17) 月刊美術 No. 546		令和3年3月	株式会社サン・アート No. 546, P113	アートフェア東京2021注目ブース 「黒白(こくびやく)」出展紹介
(18) 月刊美術 No. 548		令和3年5月	株式会社サン・アート No. 548, P61	木版画ニューエイジ 「Pictorial offering」 「Twilight」
(19) 広報誌 広報とりで(1面)		平成18年3月	広報公聴課/取手市 No. 953	取手市長賞受賞決定 ステートメント、担当教官作品講評

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(20) 新聞 東京新聞		平成22年11月	中日新聞東京本社	「UKIYOE 新世界」 アダチUKIYOE大賞 取材、紹介
(21) 新聞、広報誌 H. P. F THE PAPER No151		平成24年12月	H. P. FRANCE THE PAPER No. 151	個展「キスとハグを」紹介 作品掲載、ステートメント
(22) 新美術新聞 No. 1380		平成24年5月	(株)美術年鑑社 No. 1380	フェイス21世紀197 作品解説、特集
(23) 新美術新聞 No. 1465		平成30年3月	(株)美術年鑑社 No. 1465	個展「春雷」 作品掲載、展覧会詳細
(24) ExtraART File40		令和6年3月	有限会社アトリエサー ド	作品紹介 P18-P27 (interviewer/志賀信夫)
(その他) (講演活動) (1) ブレイク前夜		平成30年9月	ロイドワークス	次世代の芸術家たち~#127 吉田潤(Jun Yoshida) 2018年9月11日(火) 21:55~22:00 BSフジ放送 http://breakzenya.art/junyoshida/ / コンセプト、技法などの解説。
(その他) 作品発表(国外) (1) 日本版画邀請展		平成20年11月	上海半島美術館 (上海)	日本国内の主要美術大学の教員、作家などが主体となって開催された交流展。「Nursery tale rabbit」「Fantastic」2点出品。
(2) 現代日本版画展 20世紀から21世紀まで		平成22年4月	国立浙江美術館 (中国)	日中両国の美術交流を目的として、日本で活躍している56人の版画家の作品、約110点余りを展示。「蝶の舞う家」他、3点出品。
(3) Young Art Taipei 2011		平成23年5月	Sunworld Dynatasy 978合室 (台北)	「小さな世界」「身にまとうもの」など計5点展示。 平面、彫刻などhprpGALLERY取扱い作家の選抜展。
(4) Young Art Taipei 2012		平成24年5月	Sheraton TaipeiHotel#962 (台北)	「Rise」他、計5点展示。 平面、彫刻などhprpGALLERY取扱い作家の選抜展。
(5) Carving the Floating World		平成28年6月	MICHEKO GALERIE (ドイツ)	奈良時代の百万等無垢浄光陀羅尼から始まったとされる木版画印刷。メディアとして現在も木版画を専門にしているアーティストによる展示。「GIN」「Pictorial offering#12」計6点出品。
(その他) 作品発表(国内) (1) 平成17年度 東京藝術大学 卒業・修了展		平成18年2月	東京都美術館 (上野/東京)	「いい時間」F150, 紙本彩色 取手市長賞受賞/取手市買い上げ
(2) 第13回 鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞展		平成19年3月	鹿沼市立川上澄生美術館 (鹿沼/栃木)	「fantastic」700×500mm 水性木版、和紙、水性顔料、銀箔

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (3)UENO TOWN ART MUSEUM「浮世絵と伝統」		平成19年8月	台東区浅草公会堂 展示ホール(浅草/東京)	東京藝術大学版画研究室では、長年にわたり日本の伝統的な水性木版の技法をベースに研究が行われてきた。日本の伝統的な木版の新たな表現の可能性を探る試みとして発表。 <出品作品> 「アオチョウ」900×600mm 水性木版、和紙、墨、水性顔料、油性絵具 「ハロルドの帽子」300×200mm 水性木版、和紙、水性顔料 「fantastic」700×500mm 水性木版、和紙、水性顔料、銀箔
(4) 取手市長賞受賞展		平成19年10月	取手アートギャラリー きらり(取手市/茨城)	「いい時間」150号/紙本彩色 茨城県取手市収蔵
(5) 平成19年度 東京藝術大学 卒業・修了展		平成20年2月	東京藝術大学美術館 (上野/東京)	伝統水性木版のプロセスと技法を使い、童話的要素を取り入れた作品。また、箔を使用するなど日本画の材料との併用を試みた3連作。 <修了制作> 「ナターシャの旅」 900×900mm 水性木版 「ナターシャの森」 900×900mm/水性木版 「ナターシャと海」 900×900mm/水性木版
(6) 5人の新人作家展		平成20年4月	ギャラリーゴトウ (銀座/東京)	「ナターシャの旅」 900×900mm/水性木版 「ナターシャの森」 900×900mm/水性木版 「ナターシャと海」 900×900mm/水性木版 「King」334×242mm/水性木版、顔料 「Queen」334×242mm/水性木版、顔料

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (7)Nursery tale	個展	平成20年6月	Pepper's Gallery	<p>「寓話」「物語性」をテーマに制作作品の主題となる物語性を持った情景は、絵本の形式にも通じる世界観を表現し、擬人化された動物達やメルヘンの世界に登場するお姫様のような登場人物や誰もが理解でき親しみやすいイメージ。日本画と伝統木版画の技法、アイデアの融合。</p> <p><出品作></p> <p>「Nursery tale rabbit#1」 900×450mm/木版に描画、墨、楮紙、銀箔</p> <p>「Nursery tale rabbit#2」 900×450mm/木版に描画、墨、楮紙、銀箔</p> <p>「Nursery tale」 900×600mm/木版、墨、顔料</p> <p>「circus」 220×273mm/木版、墨、銀箔、楮紙</p> <p>「cup」 220×273mm/木版、墨、銀箔、楮紙</p> <p>「moon」 220×273mm/木版、墨、銀箔、楮紙</p>
(8)Young Artists Prints		平成20年7月	紀伊國屋書店 (新宿/東京)	<p>「circus」 220×273mm/木版、墨、楮紙</p> <p>「cup」 220×273mm/木版、墨、楮紙</p> <p>「moon」 220×273mm/木版、墨、楮紙</p>
(9)Visual Contents X		平成20年9月	SAN-AI-GALLERY (水天宮/東京)	<p>「Nursery tale rabbit#1」 900×450mm/木版、墨、楮紙、銀箔</p> <p>「Nursery tale rabbit#2」 900×450mm/木版、墨、楮紙、銀箔</p> <p>「Nursery tale #1」 450×450mm/木版に描画、楮紙</p> <p>「Nursery tale #2」 450×450mm/木版に描画、雁皮紙</p> <p>「Brooch」 410×318mm/ 木版、水性顔料、和紙、箔</p>
(10)UENO ART TOWN MUSEUM 2008 「版画集展示」		平成20年9月	1. 台東区役所(東京) 2. 台東区中央図書館	<p>浮世絵版画には広重の「江戸百景」、北斎の「富岳三十六景」がある。それぞれが独自の視点で選び抜いた名所図を壮大なスケールでシリーズ化したプロジェクトを現代、芸大の学生達が「上野の風物」をテーマに版画集を制作。動物園の「象」をモチーフとした「circus」単色木版画(サイズ210×297mm)</p>
(11)UENO ART TOWN MUSEUM 2008 「伝統と現代ドキュメント展」		平成20年10月	台東区立浅草公会堂 (浅草/東京)	<p>3つのプロジェクト、印刷からアートへ。「境界芸術」「版画集」「空が美術館」ワークショップのドキュメント、展示。同時に参加学生、教員の作品展を開催。</p>

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(その他) 作品発表(国内) (12)UENO ART TOWN MUSEUM 2008 「印刷物から芸術へ」</p> <p>(13) 吉田潤展</p>	<p>個展</p>	<p>平成20年10月</p> <p>平成21年4月</p>	<p>1. 東京藝術大学構内 2. 台東区役所 3. 台東区中央図書館</p> <p>ギャラリーグラフィカbis (銀座/東京)</p>	<p>現代におけるグラフィックアートで使われる様々な紙と印刷技法に焦点を当て「作品をより日常的機能的なものへと拡張していく」というコンセプトのもと、ブックカバーの制作という企画。 版画の特性である大量印刷という複数制を最大限に生かし、手仕事による豪華な印刷物を制作。デザイン科と版画科の学生によるコラボ制作 「吉田潤×鈴木里都江」 技法：オフセット、油性木版、ed. 500</p> <p>大学院で学んだ「伝統水性木版画」の技術、知識、プロセスと、学部で専攻していた「日本画」の混合技法による作品制作の実験、発表。「摺られたもの」の上にペインティングや、墨やインクを使い直接描画する。摺られた色と、塗った色の違いは大きく木版は和紙の中間層に色をかませるので発色の差は別物である。この頃から現スタイルである、銀箔と版画の関係性を検証している。 「寓話」「物語性」といったテーマで制作。 「小さな世界」1110×1350mm/木版にドローイング 「オオカミと友達」450×450mm/木版に手彩色 「幸運の赤い毒キノコ」450×450mm/木版に彩色 「リング☆」450×450mm/木版、顔料、楮紙 「水の中に空を持ちこむ」450×450mm/木版に彩色 「Nursery tale rabbit#1」900×450mm/木版、墨、楮紙 「Nursery tale rabbit#2」900×450mm/木版、墨、楮紙 「Nursery tale #1」450×450mm/木版に描画、楮紙 「Nursery tale #2」450×450mm/木版に描画、雁皮紙 「Nursery tale #3」450×450mm/木版、コラーージュ、雁皮紙</p>
<p>(14) TOKYO GEIDAI HANGA COLLECTION</p>		<p>平成21年7月</p>	<p>表参道GYRE(東京)</p>	<p>東京芸大版画研究室の教員、大学院生、学部生の作品の展覧会および、展示作品のオークション。実践的な作品展示の経験と一般のコレクターへの販売経験を積むことで学生のキャリア・アップや版画研究室の一般社会との接点を模索するという試み。 <出品作品> 「幸運の赤い毒キノコ」450×450mm 水性木版に手彩色、顔料、楮紙</p>

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(その他) 作品発表(国内)</p> <p>(15)Print portfolio exhibition</p> <p>(16) TOKYO CONTEMPORARY ART FAIR 2009</p> <p>(17) 東京版画 Exhibition×Auction</p> <p>(18) 3人展 澁谷忠臣, 吉田潤, アデラ・リボイツ</p> <p>(19) 個展 「ichika」</p>	<p></p> <p></p> <p></p> <p></p> <p>個展</p>	<p>平成21年11月</p> <p>平成21年11月</p> <p>平成21年12月</p> <p>平成21年7月</p> <p>平成22年8月</p>	<p>オーストリア 文化フォーラム (港区麻布/東京)</p> <p>東京美術倶楽部(東京)</p> <p>表参道GYRE(東京)</p> <p>hggrp GALLERY (表参道/東京)</p> <p>ギャラリーSO 静岡文化財保存修理センター(静岡)</p>	<p>< 出品作品 > 「Nursery tale rabbit#1」 900×450mm/木版、墨、楮紙、箔</p> <p>「小さな世界」1110×1350mm 木版に描画、楮紙、銀箔 「一花」1000×1000mm/木版に描画、楮紙、銀箔、墨</p> <p>古くから版画は日本人にとって非常に身近な楽しみの一つであり、版画には老若男女が生活のあらゆるシーンで親しんできた歴史がある。単に「見る」だけに留まらない、作家との交流や作品を買うという体験を通して版画の魅力を伝えるという試み。一週間の展示を行った後、オークションにて販売。落札金額の50%を奨学金としてアーティストが受け取り、残り一部をWEP国連世界食糧計画へ寄付。 「Nursery tale #2」450×450mm/木版に描画、雁皮紙</p> <p>「小さな世界」1110×1350mm 木版に描画、楮紙、銀箔 「一花」1000×1000mm 木版に描画、楮紙、銀箔、墨 「Nursery tale #1」450×450mm/木版、楮紙、顔料</p> <p>「色えんぴつ号」300×450mm/水性木版、和紙、顔料 「ハロルドの帽子」300×200mm/水性木版、和紙、顔料 「蝶の舞う家」350×500mm/水性木版、和紙、顔料 「うたたね」200×200mm/水性木版、和紙、顔料 「亀に亀」243×412mm/水性木版、和紙、墨、銀箔 「HAPPY NEW YEAR」158×226mm/水性木版、和紙、インク、墨、金箔 「一花」1000×1000mm/木版に描画、楮紙、銀箔、墨 「身にまとうもの」680×1050mm/水性木版、和紙、墨、箔、インク 「Nursery tale rabbit” w」410×318mm/墨、インク、楮紙、雁皮紙、銀箔、蜜蝋 「Nursery tale rabbit” b」410×318mm/木版、墨</p>

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(その他) 作品発表(国内) (20)ULTRA003 エマージング・ディレクターズ・アートフェア</p> <p>(21)HOGAS-東京藝術大学STAFF展-</p> <p>(22)阿波紙と版表現展2011-凸版・凹版-</p> <p>(23)TOKYO FRONT LINE 2011</p>		<p>平成22年10月</p> <p>平成22年12月</p> <p>平成23年2月</p> <p>平成23年2月</p>	<p>スパイラル (表参道/東京)</p> <p>みゆき画廊 (銀座/東京)</p> <p>文房堂ギャラリー (御茶ノ水/東京)</p> <p>3331 Arts Chiyoda (神田/東京)</p>	<p>「身にまとうもの」680×1050mm/ 水性木版、和紙、墨、箔、インク 「Nursery tale rabbit” w」 410×318mm/墨、インク、楮紙、雁皮紙、銀箔、蜜蝋 「Nursery tale rabbit” b」 410×318mm/木版、墨、楮紙、銀箔</p> <p>「花の咲く家」300×200mm 水性木版、顔料、和紙</p> <p>版表現を行う支持体である新しい和紙の開発および、その和紙を使って制作、発表。11人のアーティストによる木版、銅版、ポリマー版画(凹版、凸版)、阿波紙のメインである竹和紙や雁皮紙、楮と雁皮の二層漉などの中から作家が選択をして制作、実験。 <主催>阿波手漉和紙商工業協同組合(アワガミファクトリー)</p> <p>「beautiful world 01」480×340mm 水性木版、和紙、顔料 「beautiful world 02」480×340mm 水性木版、和紙、顔料 「beautiful world 03」480×340mm 水性木版和紙、顔料、墨 「beautiful world 04」445×390mm 水性木版、和紙、顔料 「beautiful world 05」445×390mm 水性木版、和紙、銀箔 「a vestigial organ」620×470mm/ 水性木版、和紙、墨</p> <p>「小さな世界」1110×1350mm 水性木版に描画、楮紙、銀箔 「requiem」1167×910mm/水性木版、墨、インク、箔 「身にまとうもの」680×1050mm/ 水性木版に描画、和紙、墨、箔、インク</p>

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (24)北爪潤・吉田潤 「ピリオド」		平成23年6月	hpgrp GALLERY 東京 (表参道/東京)	「現時点から原初、未来といった逆方向のベクトルを示しながらも二人の意識は血脈のように繋がるのかもしれない」同じ版画というフィールドに居ながらも、これからの版画という未来系を指し示すという試み。木版画、リトグラフという版画の枠を超える作品。 「right∞wing」900×900mm/ 水性木版に描画、和紙、墨、インク 「left∞wing」900×900mm/ 水性木版に描画、和紙、墨、インク 「子ども達のための」450×450mm/ 水性木版に描画、和紙、墨 「子ども達のために」450×450mm/ 水性木版に描画、和紙、墨 「子ども達と共に」450×450mm/ 水性木版に描画、和紙、墨 「子ども達となら」450×450mm/ 水性木版に描画、和紙、墨
(25)ART OSAKA 2011		平成23年7月	ホテルグランヴィア 大阪 26F	「Pictorial offering/」700×350mm/ 和紙、墨、インク、銀箔 「Pictorial offering//」 700×350mm/和紙、墨、インク、銀箔
(26)東京藝術大学油画 教員展サマナーショー		平成23年8月	日本橋高島屋6F 美術画廊	「子ども達のための」450×450mm/ 水性木版に描画、和紙、墨
(27)絵画思考-油画教員 展-2011		平成23年10月	藝大アートプラザ (東京藝術大学/東京)	「花冠」350×700mm/ 楮紙、墨、インク
(28)隅田川新名所物語 2011		平成23年11月	隅田公園 リバーサイドギャラリー	隅田川を挟んだ台東区・墨田区は歴史の逸話に溢れ、様々な絵画や文学の舞台にもなった地域である。江戸時代の「名所図絵」から着想されたこのプロジェクト。時代を超え現代に生きる芸大生が隅田川界隈の歴史を調べ、自分の足で歩いて、新たなこの地域の「名所」を見つける。 「8×10」200×200×50mm/ 杉板、和紙、顔料 「塔と亀」200×200×50mm/ 板、和紙、顔料、銀箔 「聖地巡礼」200×200×50mm/ 板、和紙、顔料、い草、布 「金雲」200×200×50mm/ 板、和紙、顔料、柿渋
(29)HOGAS -東京藝術大学STAFF展- 2011		平成23年12月	みゆき画廊 (銀座/東京)	「赤ずきん」455×530mm/ 水性木版に描画、墨、インク、 グラフィート、楮紙 「cloud sugar」210×210mm/ 水性木版、墨、和紙

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (30) 木版ルネサンス		平成24年5月	CfSHE ANNEX gallery (3331/東京)	「beautiful world 01」 340×480mm/ 水性木版、和紙、顔料 「beautiful world 02」 340×480mm/ 水性木版、和紙、顔料 「beautiful world 03」 360×500mm/ 水性木版、和紙、顔料、墨
(31) ずれた展		平成24年7月	東京藝術大学 アトスペース (大学構内)	本来なら版画ではタブーとされているような摺った時の版の「ずれ」を意図的に作品に込めるという試み。実際に版をずらして制作するのではなく、制作者本人が自ら踏み込まない領域や意識を変えることが目的。 「Continuously multiplying」 1120×1455mm/水性木版に描画 墨、インク、グラフィイト、雁皮紙、楮紙、銀箔、蜜蝋、ニス
(32) HOGAS -東京藝術大学STAFF展- 2012		平成24年12月	みゆき画廊 (銀座/東京)	「sugata」 210×210mm/ ポリマー凹版画, ed10 「crave you」 210×210mm/ ポリマー凹版画, ed10 「corsage」 210×210mm/ ポリマー凹版画, ed10
(33) キスとハグを	個展	平成24年12月	hpgrp GALLERY 東京 (表参道/東京)	「時間」に焦点を当てた作品群。経年劣化による作品の変色や、イメージの変化。また、過去に摺られた300年前の古紙を使い画面上で貼りあわせていくことで、薄い紙は生き物のような表皮になりイメージは重なり合う。過去と未来のイメージが重なり合うことで新しいイメージを生むという試み。 「Continuously multiplying」 1120×1455mm/水性木版、墨、インク、グラフィイト、雁皮紙、楮紙、銀箔、蜜蝋、ニス 「キスとハグを」 1300×1120mm/ 水性木版、墨、インク、雁皮紙、楮紙、銀箔、岩絵の具、硫黄 「campanula」 700×350mm/ 水性木版、墨、インク、楮紙、銀箔 「phlox」 700×350mm/ 水性木版、墨、インク、銀箔、楮紙 「thistle」 700×350mm/ 水性木版、墨、インク、銀箔、楮紙、雁皮紙、硫黄、古紙 「four-leaf clover」 700×350mm/ 水性木版、雲母置き、墨、柿渋、楮紙、古紙 「orchid」 700×350mm/ 水性木版、正面摺り、墨、グラフィイト、楮紙
(34) 第19回鹿沼市立 川上澄生美術館 木版画大賞展2013		平成25年3月	鹿沼市文化活動交流館 ギャラリー (鹿沼/栃木)	「left∞wing」 1000×1000mm 木版に描画、インク、墨、楮紙 審査員特別賞(小林敬生 選) 受賞

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (35)百虎の夢の国	個展	平成25年8月	池袋東武6F美術サロン (池袋/東京)	アーティストユニット「百虎」 ミクストメディアによる作品30余点を発表。
(36)浮世絵POP		平成25年9月	静岡市東海道 広重美術館(静岡)	現代木版画の絵師として紹介。 「小さな世界」出品
(37)空想美術大賞2013		平成25年10月	伊藤忠青山 アートスクエア 蔵丘洞画廊	「Continuously multiplying”2013”」 455×379mm/墨、インク、楮紙、銀箔、 雁皮紙、古紙、硫黄 (奨励賞受賞)
(38)SILVER LINING アートフェア東京 堤康将・吉田潤		平成26年3月	東京国際フォーラム (村越画廊)	「Sugar and spice, and all that's nice」「light」計8点出品。
(39)PRINT&ZINE展		平成26年5月	阿波和紙伝統産業会館 (徳島)	「Pictorial offering」 木版硫黄摺り/600×300mm
(40)百虎物語	個展	平成26年6月	池袋東武6F美術サロン (池袋/東京)	アーティストユニット「百虎」 ミクストメディアによる作品30余点を発表。
(41)MITUKOSHI× 東京藝術大学		平成26年8月	日本橋三越本店 (日本橋/東京)	「Pictorial offering」
(42)木版ぞめき -日本で何が起こったか-		平成26年8月	東京藝術大学美術館 (上野/東京)	「Sugar and spice, and all that's nice」作品 日本独自に発展を遂げた木版画、浮 世絵版画は世界から見てもユニーク な存在であり貴重な文化である。本 展覧会では論旨発表、ワークショップ、 木版画家による展覧会など現 在の日本の位置を捉え直し「版画大 国」として世界に再度発信する試み である。会期中には世界から参加し ている作家と作品発表を行なった。
(43)空想美術大賞記念 展		平成26年9月	蔵丘洞画廊(京都)	新鋭作家による選抜展。 「Pictorial offering#2」381×456mm 「Pictorial offering#3」381×456mm
(44)百虎絵画展	個展	平成26年12月	大丸神戸店7階 アートギャラリー (神戸)	アーティストユニット「百虎」 ミクストメディアによる作品30余点を発表。
(45)きのぷりんと2015		平成27年3月	GALLERY ARTISLONG (京都)	「Pictorial offering#1」265×265mm
(46)神話 MYTH, MYTHIC	個展	平成27年5月	村越画廊(銀座/東京)	孔雀、馬、龍、ツバメ、少女などを モチーフに作品を発表。昔の画工を 参考に和紙をレイヤー構造にするな ど、版画のプロセスから逸脱し新た な可能性を探る。 DM作品「Pictorial offering#8」F8 12点展示

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (47)PRIN&ZINE 210*297*058		平成27年7月	Kara-s(京都)	阿波手漉和紙商工業共同組合から和紙を提供してもらい総勢58名による展示。 「Pictorial offering #7」出品
(48)百虎を彩る動物達	個展	平成27年8月	池袋東武6F美術サロン (池袋/東京)	日本の昔話や季節の行事などをテーマに制作、作品30余点を発表。
(49)きのぷりんと2016		平成28年3月	GALLERY ARTISLONG (京都)	「Pictorial offering#2」265×265mm
(50)「絵馬」 アートフェア東京	個展	平成28年5月	東京国際フォーラム (東京)	絵馬から着想を得て、古来より描かれてきイメージの再構築。下地に銀箔を貼るなど、日本画と版画の融合を目的とした作品群。計15点展示。 DM作品「三の月」F6
(51)Multiply それぞれの地点より燐光する視点		平成28年11月	京都精華大学 ギャラリーフローラ	東京藝術大学、京都市立芸術大学、京都精華大学の各版画専攻が参加。教員を含めた総勢66名による交流展。企画、運営を担当。 「Continuously multiplying」 570×800mm(出品作品)
(52)「百虎」 日本画deファンタジー	個展	平成28年12月	大丸神戸店7階 アートギャラリー	鳥獣戯画に見られる擬人化をベースに日本画による作品30余点を発表。 DM作品「飛鶴小菊」600×300mm
(53)キノプリント2017		平成29年2月	ギャラリーヒルゲート (京都)	「Pictorial offering#3」265×265mm
(54)「百虎」 日本画deファンタジー	個展	平成29年3月	大丸京都6階 美術画廊	鳥獣戯画に見られる擬人化をベースに日本画による作品30余点を発表。 DM作品「艶紅」600×300mm
(55)飾団扇 展		平成29年7月	gallery MARONIE 3F (京都)	京うちわ「阿以波」の協力を得て制作された作品展示。 2点「Blue Bird」細並型 「Pictorial offering」細並型
(56)ざらざらとした艶、 浸透する滴	個展	平成29年9月	アートゾーン神楽岡 (京都)	F130「幽けし銀灰」他、10点展示。
(57)Stone Letter Project #1		平成29年9月	Gallery-TRY-ANGLE 宝塚大学(兵庫)	伝統的な石版リトグラフを使用し作品制作、展示。 「Pictorial offering」600×400mm
(58)キノプリント2018		平成30年2月	ギャラリーヒルゲート (京都)	「Pictorial offering#4」265×265mm

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (59)「春雷」 アートフェア東京	個展	平成30年3月	東京国際フォーラム (東京)	神聖なる孔雀や馬、天空より舞い降りる龍神、何か得体の知れないものを身にまとう無垢な少女、画面に散りばめられた生の象徴である純然な花たち。彼らは現代における無数の毒によって劣化し、歪みを帯び、自らの身体が衰耗しながらも、甦生へと導く未来への生け贄ではないだろうか。東京藝術大学で日本画を専攻したのちに同大学院で木版画を修了した経歴から、日本の伝統絵画である「日本画」と、日本独自の発展を遂げた浮世絵に見られる「伝統水性木版画」の混合技法の作品を展開、発表。作品15点。
(60)夏の芸術祭2018 MITSUKOSHI×藝大		平成30年8月	日本橋三越本店 美術画廊(日本橋/東京)	「雛月」700×350mm
(61)ビーナスを綴じる -Venus Bound-		平成30年10月	アートコンプレックス センター(東京)	「春画」や「エロス」をテーマに据え、これを澁刺と明るく扱った展覧会を計画。展示の中核をなすのは版画であり、本企画はこの印刷されたイメージとしての版画を「継ぎ目」としてペインティング、彫刻、立体、インスタレーションのような形式を展示。 「Venus」700×350mm
(62)葡萄の夜 Featuring 6 printers +Kisvin		平成30年12月	村越画廊(銀座/東京)	山梨・甲州のKisvinワイナリーが造る1本のワインにインスピレーションを受けた6人の版画家による展覧会。オリジナルラベルを作成、版画作品と一緒に展示。
(63)G6 Exhibition Ver. 11		平成31年1月	彩鳳堂画廊(京橋/東京)	東京藝大日本画専攻の出身者によるグループ展。 ミクストメディア 計6点 出品。
(64)Kyoto Art for Tomorrow 2019 -京都府新鋭選抜展-		平成31年1月	京都文化博物館 3階展示室(京都)	京都を中心に活躍している新進の若手作家を紹介し、世界へ発信していくことを目的とした展覧会。 平面作品100号 1点 出品。
(65)キノプリント2019		平成31年2月	ギャラリーヒルゲート (京都)	版画集の刊行と作品展示。 「Pictorial offering」265×265mm /ポリマー凹版、銀インク
(66)G6 Exhibition Ver. 11		平成31年4月	松坂屋名古屋店 美術画廊(名古屋/愛知)	松坂屋名古屋本館美術画廊での巡回展。会期中にトークショー開催。 「日本画」+「版画」の可能性について考察、実践。
(67)News2019展		令和1年12月	東京藝術大学構内 立体工房(上野/東京)	新任教員、助手による展示。総勢14名。「雛月」「Pictorial offering」2点出品

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (68)百虎 神戸大丸	個展	令和1年12月	神戸大丸百貨店7階 美術画廊(神戸/兵庫)	吉祥をテーマに作品を展開。擬人化した兎や猫にお着物を着せた華やかなシリーズで四季を表現。30余点。
(69)G6 Exhibition Ver. 12		令和2年1月	彩鳳堂画廊(京橋/東京)	「phlox」「Pictorial offering」 「Pictorial offering 飛龍」
(70)HAPPINESS 展	個展	令和2年6月	銀座三越7階ギャラリー (銀座/東京)	日本が古くから表現手法のひとつとして得意とした擬人化を用い、色彩豊かな着物を纏う猫や兎、吉祥の七福神、おとぎ話など、エンターテイメントとしての日本画を発表。40余点。
(71)MITSUKOSHI× 東京藝術大学 夏の芸術祭2020		令和2年8月	日本橋三越本店 美術画廊(日本橋/東京)	「Love」S6、楮紙、墨、インク
(72)「HANGA」NEXT GENERATION 明日の星たち STAGE. 2		令和2年12月	日本橋高島屋 美術画廊(日本橋/東京)	小林敬生氏(版画家)、野口玲一氏(三菱一号館学員)、三木哲夫氏(版画研究者)、3名による推薦作家の作品展覧会。月刊美術と日本橋高島屋の合同企画展。版画、ミクスとメディア計6点出品。
(73)G6 Exhibition Ver. 13		令和3年1月	彩鳳堂画廊(京橋/東京)	東京藝大日本画専攻の出身者によるグループ展。 ミクスとメディア 計4点 出品。
(74)アートフェア東京 黒白(こくびやく) 吉田潤/渡邊加奈子		令和3年3月	東京国際フォーラム (村越画廊より出展)	2020年3月にはコロナで中止になったため、2021年に開催。モノクロームの版画、ミクスとメディアを中心とした2人展。版画作品を含め11点出品。
(75)「HANGA」NEXT GENERATION 明日の星たち STAGE. 2(巡回展)		令和3年3月	ギャラリー恵風 (京都)	2020年12月に日本橋高島屋で開催した展覧会の巡回展。
(76)藝大アートフェス 2021		令3年3月 ~5月	オンライン上での展示	「幽けし銀灰」F130号 出品 ゲスト審査員特別賞(葉加瀬太郎氏)受賞 アートルネッサンス賞 受賞
(77)アートフェア東武 百虎絵画展	個展	令和3年4月	池袋東武8階催事場 (池袋/東京)	日本が古くから表現方法のひとつとして得意とした擬人化を用い、色彩豊かな着物を纏う兎や猫、吉祥の七福神、おとぎ話など、エンターテイメントとしての日本画を発表。
(78)G6 Exhibition Ver. 14		令和4年1月	彩鳳堂画廊(京橋/東京)	東京藝大日本画専攻の出身者によるグループ展。ミクスとメディア 計5点 出品。

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (79)百虎 神戸大丸	個展	令和4年2月	神戸大丸百貨店7階 美術画廊(神戸/兵庫)	日本が古くから表現方法のひとつとして得意とした擬人化を用い、色彩豊かな着物を纏う兎や猫、吉祥の七福神、おとぎ話など、エンターテイメントとしての日本画を30余点、発表。
(80)G6 Exhibition Ver. 14		令和4年2月	松坂屋名古屋店 美術画廊(名古屋/愛知)	彩鳳堂画廊での展覧会の巡回展。 ミクストメディア 計4点 出品。
(81)G6 Exhibition Ver. 14		令和4年3月	大丸心齋橋店本館8階 (大阪)	彩鳳堂画廊での展覧会の巡回展。 ミクストメディア 計4点 出品。
(82)京都画壇・日本画の 名手たち		令和4年5月	村越画廊(銀座/東京)	「Elpida」F20、他3点出品。
(83)百虎	個展	令和4年6月	東京大丸百貨店 美術画廊(東京)	「牡丹に燕」600×300mm、 他30点出品。
(84)ART ORINPIA 2022		令和4年6月	起雲閣/静岡	「Renatus」F50 ミクストメディア 入選
(85)百虎+吉田潤展	個展	令和4年12月	大丸京都店6階 美術画廊(京都)	「宝船雲龍図」M20、他30点出品
(86)一期と一絵		令和4年12月	日本橋三越本店 美術特選画廊(東京)	「海老鯛」M8、他1点出品。
(87)MITSUKOSHIセレクト ション アートの現在地		令和5年1月	日本橋三越本店 美術特選画廊(東京)	「花兎」F6出品。
(88)G6 Exhibition Ver. 15		令和5年1月	彩鳳堂画廊(京橋/東京)	「大鵬海老」F50、他3点出品。
(89)百虎	個展	令和5年2月	大丸福岡天神店 美術画廊(福岡)	「Macaron」F6、他30点出品。
(90)North Print -北海道の現代版画-		令和5年3月	SCARTSコート/市民交流 プラザ(札幌)	「幽けし銀灰」F100、他2点出品。
(91)G6 Exhibition Ver. 15		令和5年3月	松坂屋名古屋店 美術画廊(名古屋/愛知)	「兎鶏着物図」700×350mm 他、4点出品。(巡回展)
(92)G6 Exhibition Ver. 15		令和5年6月	大丸神戸店 美術画廊(神戸/兵庫)	「Luminescence」F3、他4点出品。 (巡回展)
(93)百虎	個展	令和5年6月	銀座三越7階ギャラリー (銀座/東京)	「花の庭園」F10、他30点出品。
(94)鼓動する日本画展		令和5年8月	札幌三越9階ギャラリー (札幌/北海道)	「Renatus」F50、他4点出品。
(95) G6 Exhibition Ver. 16		令和6年1月	Artglorieux GALLERY OF TOKYO(GINZA SIX /東京)	「風神」700×350mm 他、4点出品。
(96) G6 Exhibition Ver. 16		令和6年2月	松坂屋名古屋店 美術画廊(名古屋/愛知)	「風神」700×350mm 他、4点出品。(巡回展)

著書, 学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所, 発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(その他) 作品発表(国内) (97) G6 Exhibition Ver. 16 (98) 皇希の会		令和6年4月 令和6年4月	大丸心齋橋店 Artglorieux (大阪) 船橋東武百貨店 (船橋/千葉)	「雷神」700×350mm 他、4点出品。(巡回展) 「Flower garden」F4 他、5点出品。